



石山小だより

令和3年2月1日
学校だよりNO.12



学校教育目標 『明朗・健康・自主自立』

寒波の先に春を見据えて

1年中で一番寒さの極まる月といわれる2月になりましたが、今年例年になく寒い日が続いています。今年の節分は2月2日、立春は翌3日です。寒い日が続いていますが、ちらほら梅の花の便りも聞かれるとともに、次第に昼の時間も長くなってきました。草木も春に備えて準備を始め、もうすぐ春の足音が聞こえてくるような気がします。学校もこれから年度末を迎え、子どもたちの意識の中にも、もうすぐ卒業・進級の時期を迎えるのだという自覚がこれから徐々に高まってくるものと思います。急に寒くなったり、暖かくなったりと温度の調整が難しくなりますが、健康に注意しながら、新しい学年を迎える準備を進めていきたいと考えています。



きらっとデコレーション委員会作成

ほめ方の3つのポイント

先日、音楽の時間に担任の先生が子どもたちの歌声を聞いて、「うまい！！」「聴いていて気持ちがいいわね！！」と大きな声でほめていました。子どもたちはにこにこ顔でした。

子どもを育てていく上で、「ほめる」ということは極めて大切なことです。学校では、次のようなことを考えながらほめています。

① 何がよかったか具体的にほめる

「掃除がよくできたね。」だけでなく「隅々までしっかりとほうきではけていたね。」というように具体的な行動を認める言葉かけをします。

② 結果だけでなく、その過程もほめる

結果だけほめると、「結果」にしか目が向かなくなります。努力した過程を評価し、目標に向かっていこうという意欲をもたせることが大切です。例えば、運動会で自分たちの目標に達しなくてもそれをめざして努力を重ねたことを第一にほめています。

③ 感動を伝える

「掃除をしたら、ぴかぴかになって気持ちがいいね。」など、『うれしい』『楽しい』思いを伝えたいと思っています。簡単な言葉でもよいので、感動したことを率直に伝えることが大切です。ほめることによって子どもを動かそうとするものではありません。

心を込めてほめることができる大人、たくさんほめることができるのは、それだけ子どものことをよく見ているということです。ほめられることで、子どもたちは、『自分の事を見てくれている』という安心感を得ることができます。それが大人に対する信頼感へとつながっていくのではないのでしょうか。また、ほめて規範意識を育てるという面もあります。具体的にほめることや他人がほめられている様子を見せることは、どう行動したらよいのかという規範を示すことにつながります。うまく、そして、たくさんほめてあげてほしいと思います。

2月の行事予定

2月は、いじめ防止・ふれあい強化月間です。

- 1日(月) 委員会活動、登校指導、交通立ち番(3年3組保護者)
- 2日(火) 6年石山中入学説明会
- 3日(水) こいのぼり作り(1年) 教育相談 13:00~
- 4日(木) 新1年生資料配付・入学物品販売9:00~10:30 こいのぼり作り(4年)
- 5日(金) こいのぼり作り(5年)
- 8日(月) クラブ活動、こいのぼり作り(3年)
- 9日(火) こいのぼり作り(2年)
- 10日(水) 新1年生教室見学会15:30~ 教育相談 9:00~
- 15日(月) クラブ活動 交通立ち番(2年1組保護者)
- 16日(火) 5年生フローティングスクール
- 18日(木) 合同学校協力者会議・コミュニティスクール(石山中)
- 19日(金) 食育の日
- 22日(月) 4年以上6校時
- 24日(水) 教育相談 9:00~

見守りボランティア活動日

1日、10日、19日、25日

めざせ100周 がんばっています!!

3学期は、寒さに負けずに外に出て体を動かそうということで、まずは運動場100周走ろうとがんばっています。どんどんたくさんのお子もたちが走るようになりました。



多羅川文庫の利用制限について

毎週金曜日に、石山市民センターで開催されています。新型コロナウイルス感染予防のために、1月15日から2月末まで下記の児童のみの利用となります。ご協力をお願いします。

- 2月 5日(金) 2年生以外の児童 2月12日(金) 2年生児童のみ
- 2月19日(金) 2年生以外の児童 2月26日(金) 2年生児童のみ

石山小ホームページより

1月14日 式部っち教室に登場

石山小の出来事

検索

コロナ禍の中、子どもたちの前になかなか登場する機会がありませんでしたが、本日の給食で式部っちの大好物の「小松菜」の和え物が出ました。「残さずに食べよう」ということで、なかよし、1~3年生の教室をまわりました。

